

# 2020年度 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

# 目次

**I . 2020年度実績(連結)**

**II . 2021年度・業績および配当予想**

# I . 2020年度実績(連結)

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	輸送材料、発光材料、PCR診断キット用材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業

## 通期累計

単位：百万円  
表示：百万円未満切捨

連 結	2019年度	2020年度	前期比
売 上 高	37,771	41,199	+3,428
営 業 利 益	2,902	5,444	+ 2,541
経 常 利 益	3,058	5,841	+ 2,782
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,858	3,119	+ 1,261

為替レート

\$=108.95円  
W=0.0920円

\$=105.95円  
W=0.0917円

\$=ドル  
W=韓国ウォン

- ・ **売上高**は、機能性樹脂、基礎化学品、物流関連が減少したものの、機能性色素、アグロサイエンスが増加し、**3,428百万円の増収**
- ・ **営業利益**は、販管費が増加したものの、売上高の増加により、**2,541百万円の増益**
- ・ **経常利益**は、営業利益の増加等に加え、為替差損が差益に転じたこと等により、**2,782百万円の増益**
- ・ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、主として経常利益の増加により、**1,261百万円の増益**

(単位:億円)

科目	2020年 3月末	2021年 3月末	増 減
(流動資産)	255	300	+45
現預金	68	94	+25
売上債権	112	120	+7
棚卸資産	70	83	+12
その他	3	3	▲0
(固定資産)	293	325	+31
有形・無形 固定資産	222	228	+6
投資有価証券	59	82	+22
その他	11	13	+2
合計	549	626	+77

科目	2020年 3月末	2021年 3月末	増 減
(負債)	178	189	+10
仕入債務	41	41	▲0
有利子負債	71	74	+2
その他	65	73	+8
(純資産)	370	436	+66
資本金	111	111	-
資本剰余金	87	87	+0
利益剰余金	113	141	+27
その他	57	96	+38
合計	549	626	+77

## 財務指標

・自己資本比率	61.8%	⇒	61.8%
・D/Eレシオ	0.21倍	⇒	0.19倍

有利子負債	71億円	⇒	74億円
現預金	68億円	⇒	94億円



通期累計

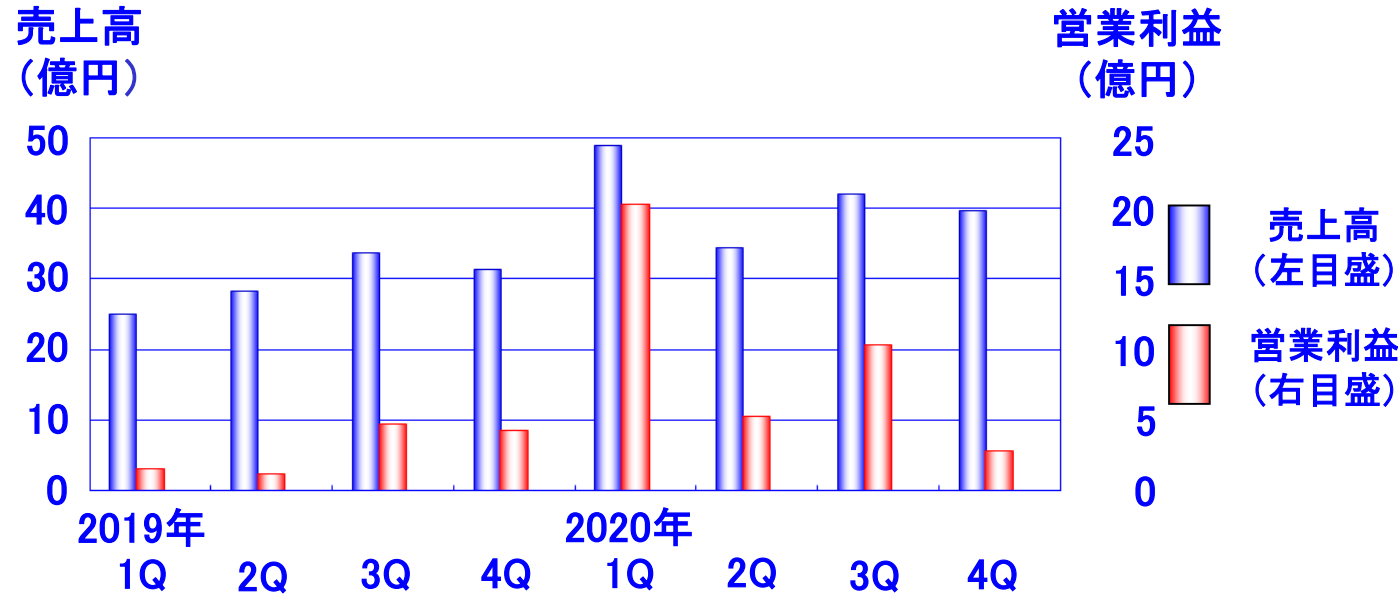
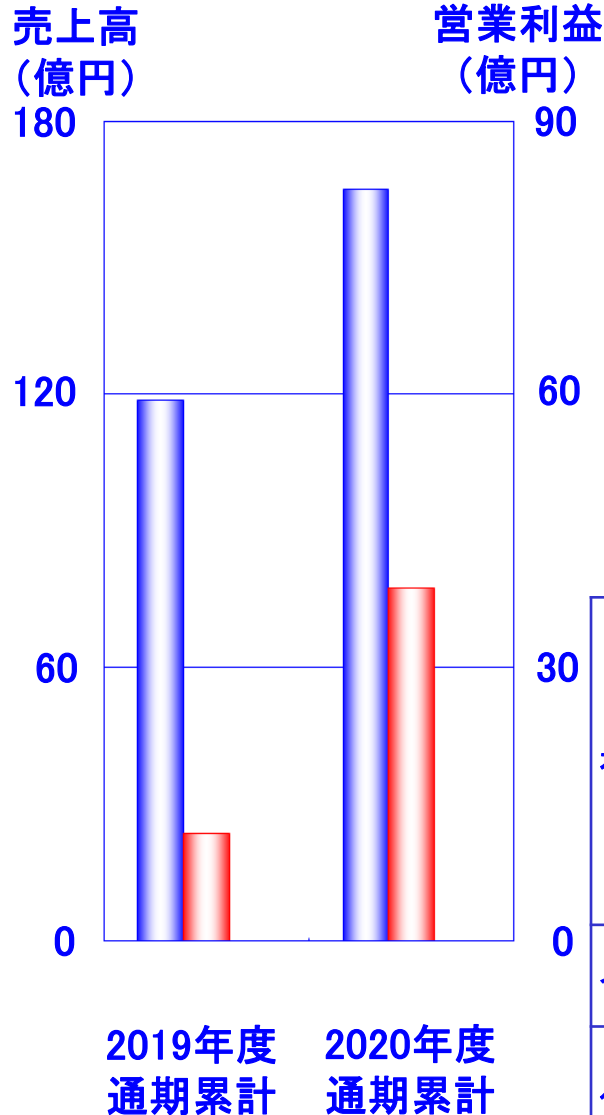
 単位：百万円  
 表示：百万円未満切捨

セグメント	2019年度	2020年度	前期比
機 能 性 色 素	11,855	16,503	+ 4,648
機 能 性 樹 脂	11,717	10,255	▲ 1,462
基 礎 化 学 品	7,156	6,866	▲ 289
アグロサイエンス	4,951	5,554	+ 603
物 流 関 連	1,932	1,848	▲ 84
そ の 他	158	171	+ 12
合 計	37,771	41,199	+ 3,428

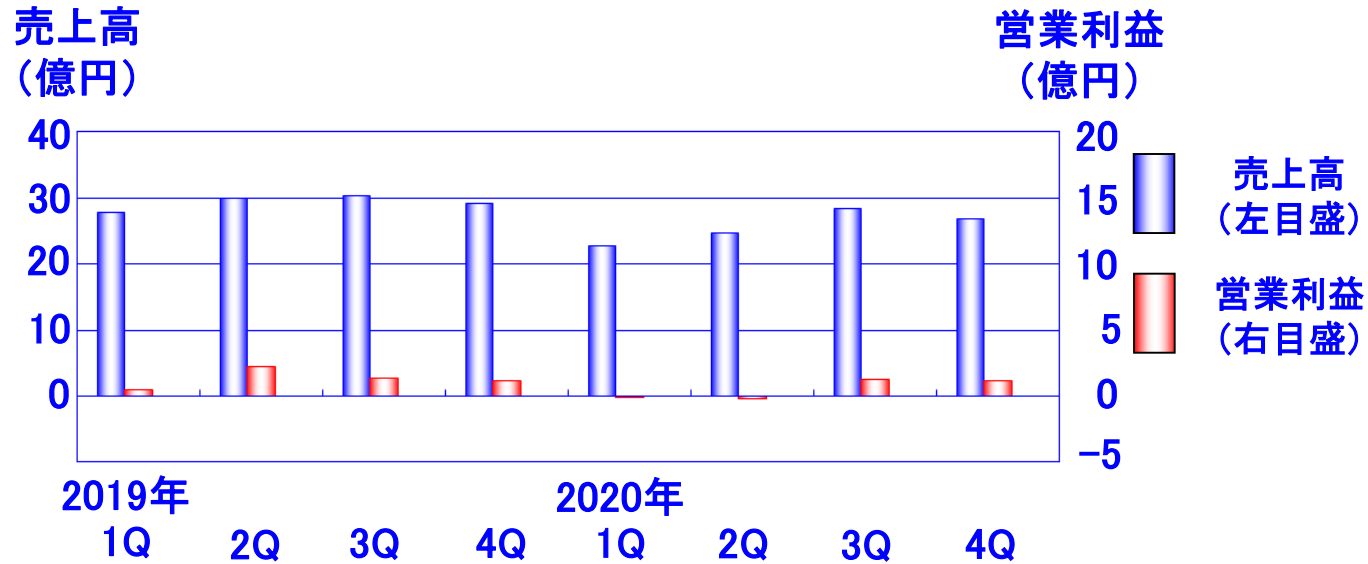
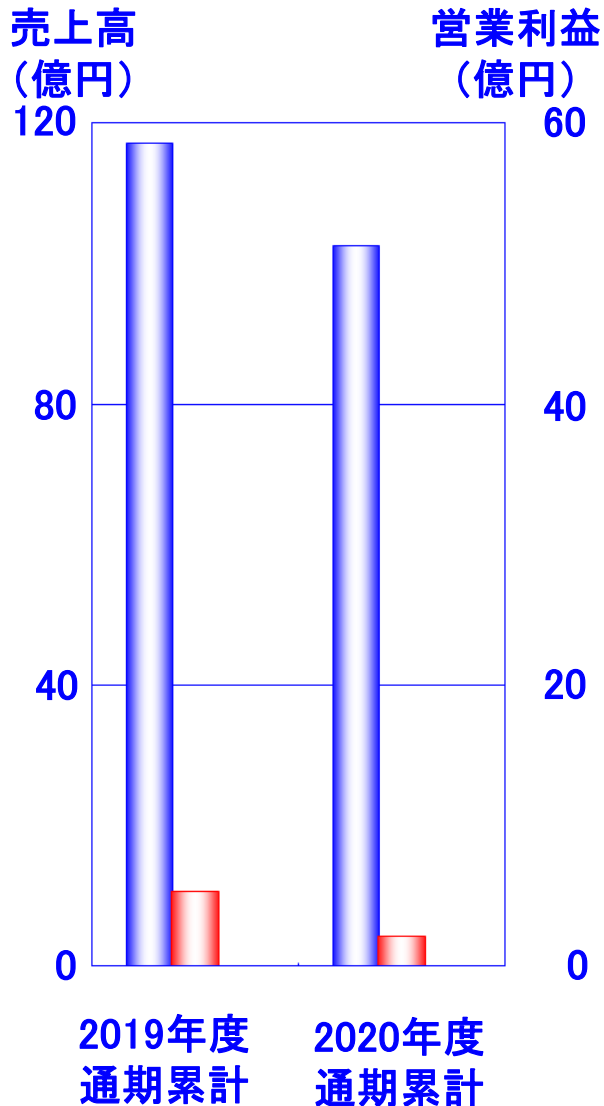
通期累計

単位：百万円  
表示：百万円未満切捨

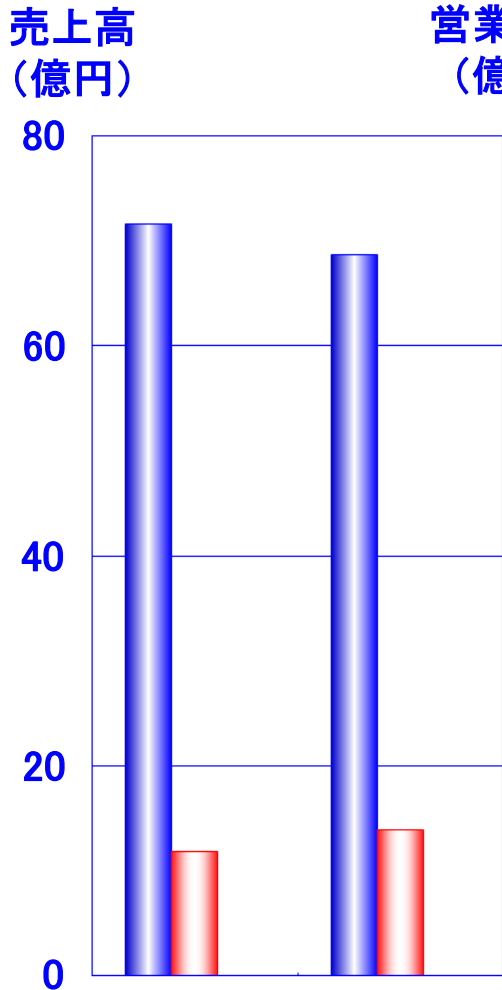
セグメント	2019年度	2020年度	前期比
機能性色素	1,182	3,874	+ 2,692
機能性樹脂	531	207	▲ 323
基礎化学品	589	694	+ 105
アグロサイエンス	205	268	+ 62
物流関連	397	361	▲ 36
その他	▲ 3	35	+ 39
合計	2,902	5,444	+ 2,541



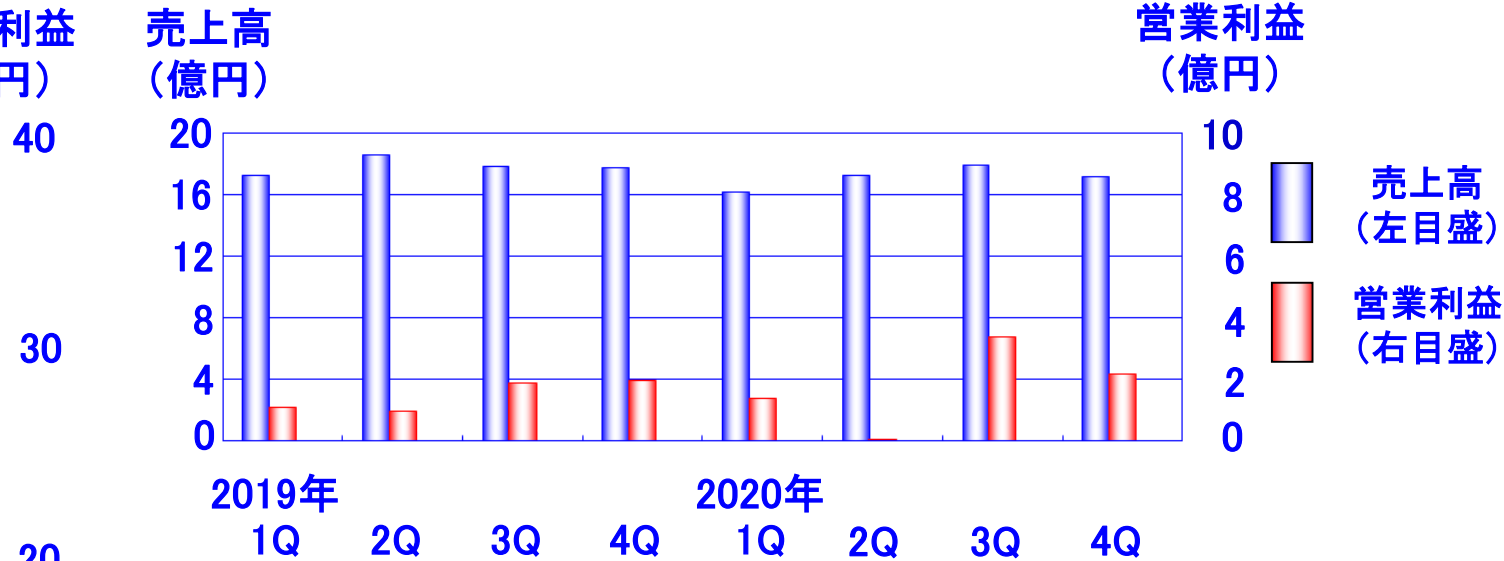
有機EL材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォン向けディスプレイ分野において、液晶から有機ELへの切り替えが進んでおり、需要が増加。</li> <li>また、当社の子会社において、有機EL材料の用途展開として、PCR診断キット用材料が、複数の診断キットメーカーの採用で、第1四半期では大幅な増収。</li> <li>第2四半期では競争激化により、販売量が減少していたが、その後、世界的な感染の再拡大により、販売量が回復</li> </ul>	
イメージング材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリンター向け材料の需要低迷に加え、コロナ禍によりオフィス印刷の需要が減少し、大幅な減収</li> </ul>	
色素材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミ着色用染料でスマートフォン向けの販売が増加したものの、コロナ禍の影響により、繊維向け染料や文具向け染料等の需要が減少し、前期並み</li> </ul>	



樹脂材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウレタン原料は衣料向けを始めとして需要が徐々に回復し前期並みとなったが、タイヤ用接着剤がコロナ禍での自動車生産の減少により、減収</li> </ul>	↓
建築材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での工事の延期や中止等が発生、材料販売や防水工事の需要が減少し、大幅な減収</li> </ul>	↓
特殊化学品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬向け中間体の競争激化等により、大幅な減収</li> </ul>	↓



2019年度 通期累計 / 2020年度 通期累計

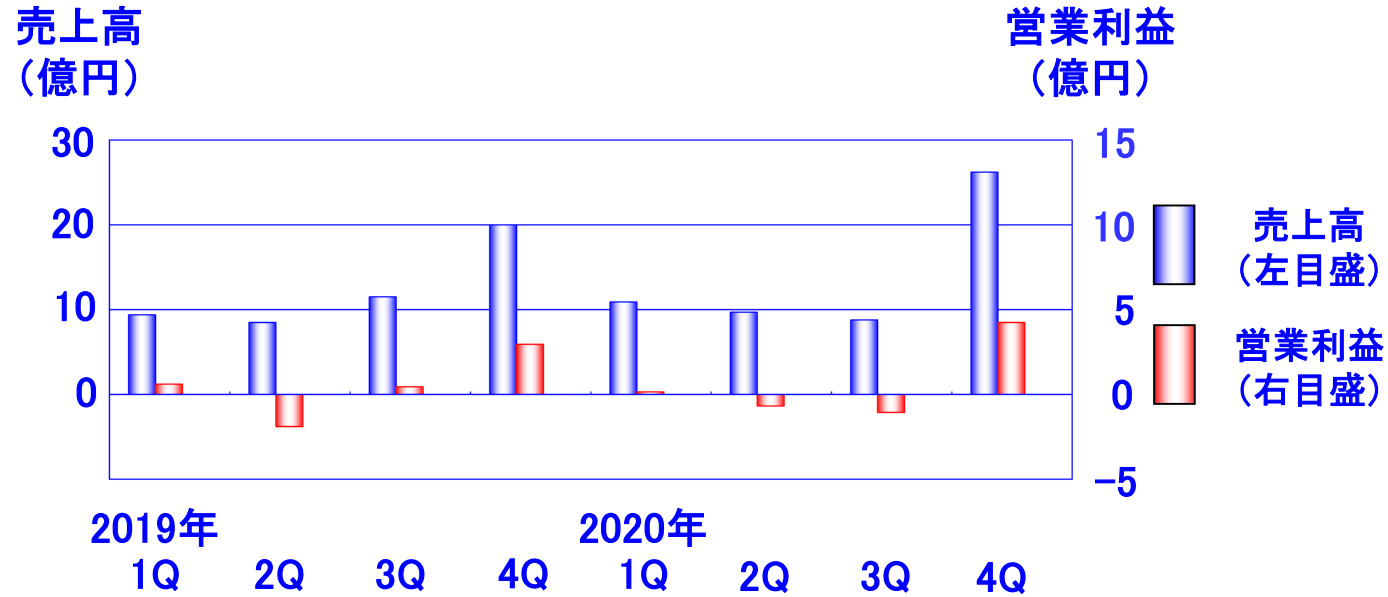
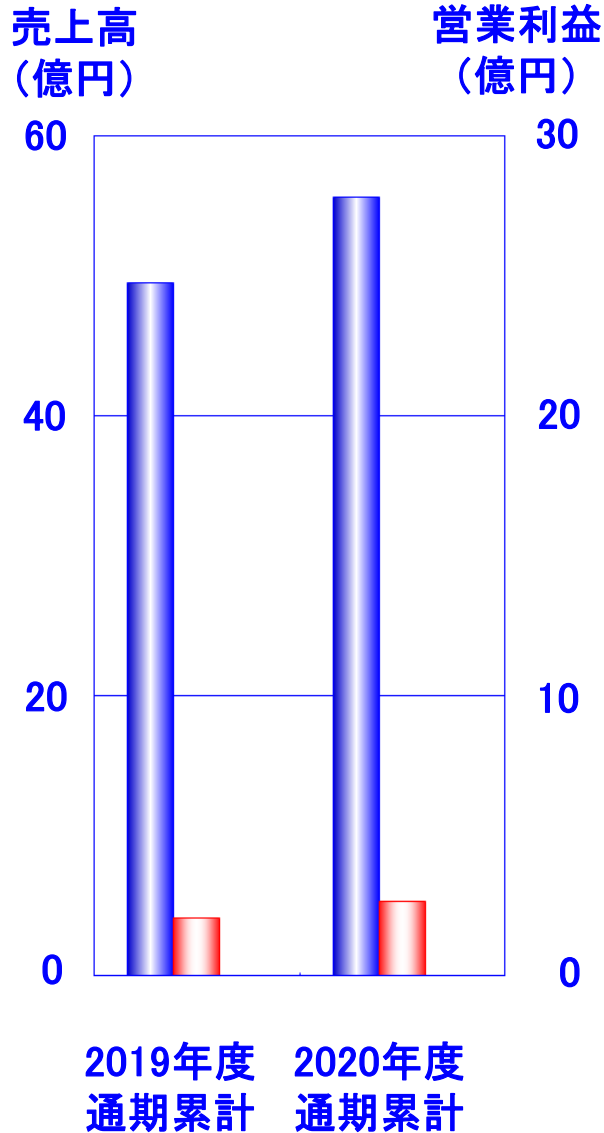


過酸化水素 及び 誘導品 (※)

- 過酸化水素誘導品は、衣料用漂白剤や家庭用洗剤向けが堅調に推移したが、コロナ禍での内視鏡除菌向け等での需要が減少し、前期並み。
- 一方で、過酸化水素は、工業薬品向けが半導体市場を中心に好調に推移したが、紙パルプ向け等での需要が減少し、減収



※過炭酸ナトリウム、過酢酸等



アグロサイエンス

- ・殺虫剤は、顧客の在庫調整により販売量が減少し、大幅な減収。
- 一方で、除草剤においては、農耕地向け等は顧客での在庫調整が進んだことで前期並みに推移し、また、ゴルフ場向けは需要が堅調に推移。
- 家庭園芸向け除草剤も、コロナ禍での巣籠り需要により、大幅な増収

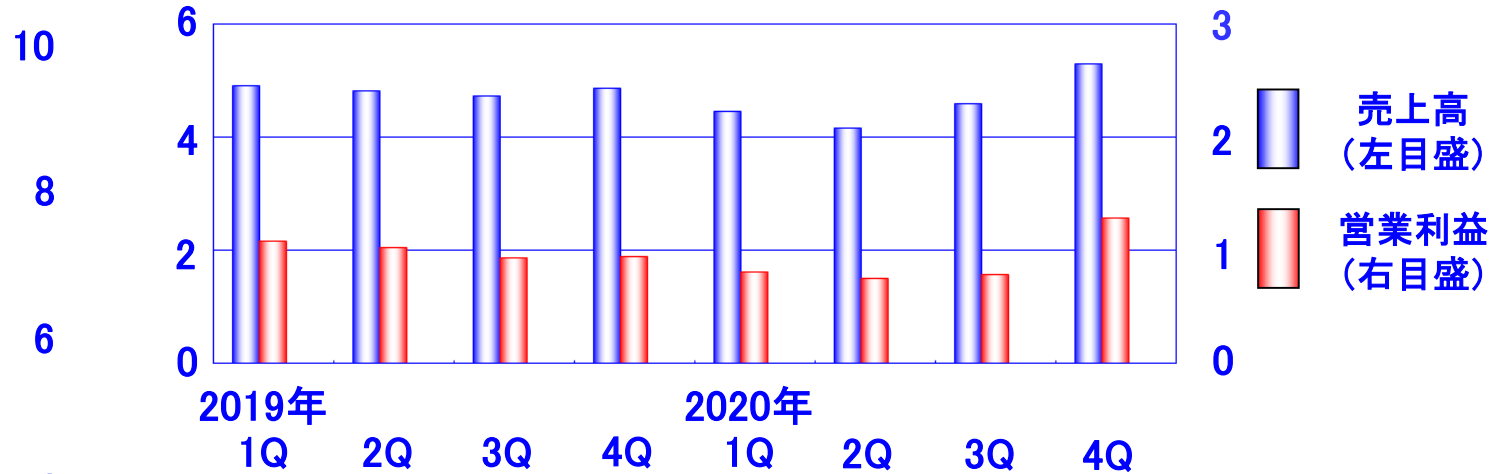
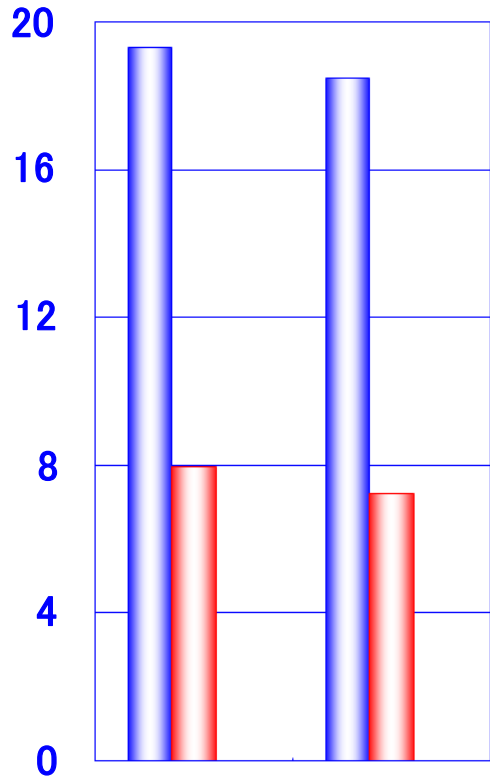


売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)

売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)



物流関連 ・コロナ禍での経済活動の停滞に伴い、輸出の取り扱い量が減少し、減収

2019年度 通期累計  
2020年度 通期累計

## Ⅱ. 2021年度・業績および配当予想



- ・2022年3月期の期首より  
「収益認識に関する会計基準」  
(企業会計基準第29号)等を適用

- 2021年3月期:適用なし
- 2022年3月期:適用あり

※当該基準適用により、2022年3月期の売上高が  
約70億円減少しております

## ・連結業績予想

(単位:百万円)

科 目	2020年度実績	2021年度業績予想 (収益認識基準適用)
売 上 高	41,199	34,500
		※41,500
営 業 利 益	5,444	2,500
経 常 利 益	5,841	2,500
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	3,119	1,400

※売上高の下段は、収益認識基準適用前

## ・配当予想

年間配当：60円／株  
＜中間：30円／株、期末：30円／株＞

「ステークホルダーへの還元に関する方針」に基づき内部留保と株主の皆様への還元のバランスを適切に図ることとしております。

配当については、株主資本配当率(DOE)の向上を長期的な課題と捉え、且つ、安定的・継続的で適正な株主還元の実施を重視し、2021年度の配当については、2020年度比で年間10円／株の増配を予定しております。